

もっと

知りたい!

獣医師と獣医師会の仕事





2011 動物感謝デー in JAPAN

私たちは2011 動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"の
趣旨に賛同しています

共立製薬株式会社

日本全薬工業株式会社

メリアル・ジャパン株式会社

ロイヤルカナン ジャポン合同会社

日本ヒルズ・コルゲート株式会社

アクサ損害保険株式会社

DSファーマアニマルヘルス株式会社

日清ペットフード株式会社

ノバルティス アニマルヘルス株式会社

株式会社野村商店

株式会社安田システムサービス

株式会社損害保険ジャパン

森久保薬品株式会社

株式会社ジェイ・エム・エス

編集・発行:  社団法人 **日本獣医師会**
— 動物と人の健康は一つ。—
そして、それは地球の願い。

平成23年(2011年)10月発行

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
tel.03-3475-1601 / fax.03-3475-1604

<http://nichiju.lin.gr.jp/>

国際規格 ISO11784/11785 適合品

動物用個体識別マイクロチップシステム

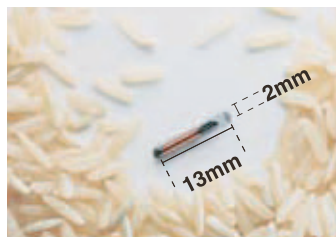
アイディール

これからもずっと一緒だよ

- 体にやさしい
- 刺激が少ない
- 衛生的で円滑に注入が可能



- ・アイディール（マイクロチップ）は動物用体内植え込み型標識です。無電源で、首輪や名札などのように脱落や消失する恐れがありません。
- ・世界でひとつの個体識別番号（ID）が書き込まれており、番号の変更や消去は出来ないので、動物の生涯の身分証明になります。
- ・（社）日本獣医師会へ飼い主情報を登録すると、迷子で保護された際、読取器によるID番号の照合で飼い主がわかります。
- ・国際規格 ISO11784/11785 に準拠した製品です。海外の検疫所でも同規格のリーダーならば、ID番号の読取りが可能です。



マイクロチップリーダー

左から「アイマックス PLUS」
「マルチリーダーミタッグ Ges2」
「スティックリーダー」



販売元

K 共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南1-5-10

製造販売元

FHK 富士平工業株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷6丁目11番6号

製造元

DATAMARS



日本獣医師会・獣医師倫理綱領

獣医師の誓いー95年宣言

人類は、地球の環境を保全し、他の生物と調和を図る責任を持っている。特に獣医師は、動物の健康に責任を有するとともに、人の健康についても密接に関わる役割を担っており、人と動物が共存できる環境を築く立場にある。

獣医師は、また、人々がうるおいのある豊かな生活を楽しむことができるよう、広範多岐にわたる専門領域において、社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

獣医師は、このような重大な社会的使命を果たすことを誇りとし、自らの生活をも心豊かにすることができるよう、高い見識と厳正な態度で職務を遂行しなければならない。

以上の理念のもとに、私たち獣医師は次のことを誓う。

1. 動物の生命を尊重し、その健康と福祉に指導的な役割を果たすとともに、人の健康と福祉の増進に努める。
2. 人と動物の絆(ヒューマン・アニマル・ボンド)を確立するとともに、平和な社会の発展と環境の保全に努める。
3. 良識ある社会人としての人格と教養を一層高めて、専門職としてふさわしい言動を心がける。
4. 獣医学の最新の知識の吸収と技術の研鑽、普及に励み、関連科学との交流を推進する。
5. 相互の連携と協調を密にし、国際交流を推進して世界の獣医学の発展に努める。

社団法人日本獣医師会 第52回通常総会採択(1995年6月)

日本獣医師会・獣医師会活動指針

ー動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。ー

- 1 地球の課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方(One World-One Health)が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領 獣医師の誓いー95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

「One World-One Health」とは

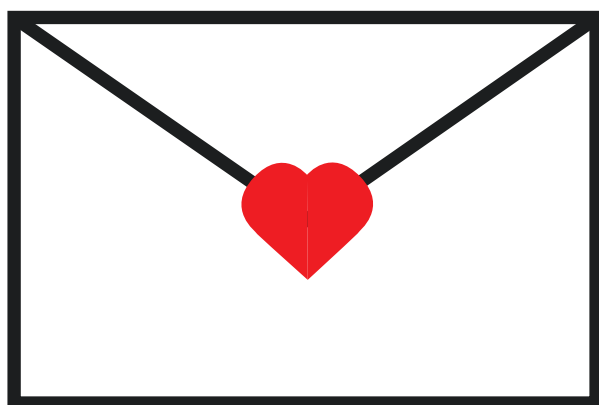
動物と人及びそれを取り巻く環境(生態系)は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。

2004年に野生動物保全協会(WCS)が提唱した。また、国際獣疫事務局(OIE)は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

社団法人日本獣医師会 平成22年度第1回理事会決定(2010年5月)、第67回通常総会採択(2010年6月)



せたがや おも ふけ
世田谷で想いに耽る



くわ とう しゃ よ くだ
詳しくは当社ブースへお寄り下さい。



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

URL : www.zenoaq.jp



動物と人の健康は一つ。そして、
それは地球の願い。



CONTENTS

Chapter 1 ～第1章～ 日本獣医師会とは

日本獣医師会の組織と活動 ————— 05

Chapter 2 ～第2章～ 獣医師の仕事

獣医師の活動分野 ————— 07

家庭動物の健康を守る〈小動物診療〉 ————— 09

家畜の健康を守る〈産業動物診療〉 ————— 11

公的機関で活躍する獣医師〈家畜衛生・公衆衛生〉 ————— 13

こんなところにも！ さまざまな分野で活躍する獣医師たち ————— 15

Chapter 3 ～第3章～ 獣医師への道

獣医師になるには ————— 17

Chapter 4 ～第4章～ 災害への取り組み

被災した動物たちのために力を結集する獣医師たち ————— 19

さまざまな機関と連携した強固なネットワークと独自の活動で 動物と人の健康を守り、獣医学の発展に貢献しています

日本獣医師会の組織と活動

日本獣医師会は、その前身である「大日本獣医会」の発足から数えて100年以上の歴史を持っています。現在の組織は、戦後、獣医師としての使命を達成するためには、民主的かつ権威ある獣医師の組織が必要であるという気運が高まるなか、昭和23年11月に「社団法人日本獣医協会」として誕生しました。その後、昭和26年に「社団法人日本獣医師会」に改称されて現在にいたっています。

言葉を持たない"患者"である動物たちの健康を守る「動物のお医者さん」としての動物に対する医療の提供をはじめ、食肉・卵・乳等の畜産物の生産から流通に至る安全性の確保と生産性の向上、人と動物の共通感染症の防疫、医薬品の開発・研究、獣医学の教育・研究、動物福祉・愛護、野生動物保護管理等の多岐にわたる役割を担って、獣医師は日々努力を続けています。日本獣医師会は、全国の獣医師の期待と信頼に応える組織作り、ネットワーク作りを目指してきました。

現在、日本獣医師会は、地方獣医師会との緊密な連携をとりながら組織の運営にあたっているだけでなく、関係各省庁や団体とを結ぶ重要なパイプ役も果たしています（下図参照）。また、海外の関係団体との交流

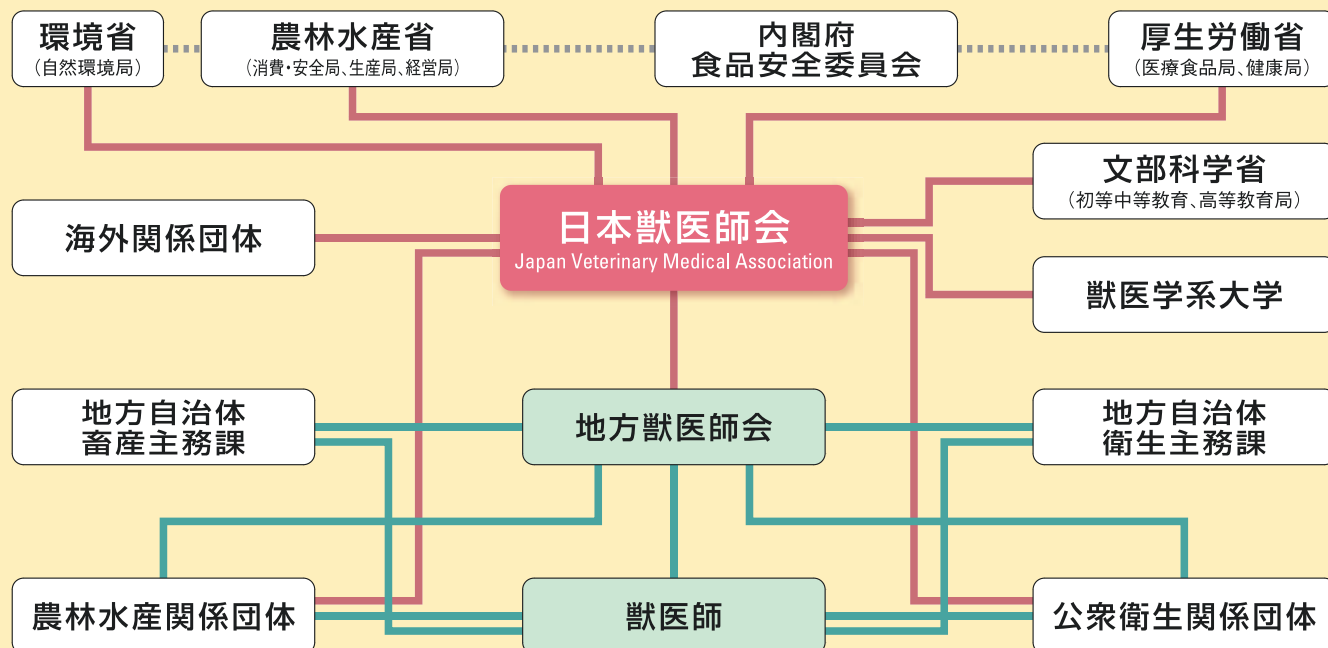
など、そのネットワークは広範なものとなり、より一層緊密で揺るぎないものとなっています。

獣医師に求められる課題は、時代の進展とともにますます多様なものになってきています。それと同時に、日本獣医師会でも、時代の変化に対応した環境作りや、さまざまなサポートワークが必要となってきています。

日本獣医師会では、獣医師向けの獣医学術雑誌を刊行しているほか、専門書籍・視聴覚教材の配布、学会・講習会・研修会の開催など、バラエティ豊かな研修プログラムを提供しています。また、獣医界を取り巻くさまざまな問題に対処するための部会委員会を設置して問題解決に向けた検討を行っています。さらに、獣医事に関する調査・研究、動物福祉・愛護精神を普及させるための諸活動をはじめ、会員である獣医師（現在約28,000人）の福祉や厚生に係る事業なども行っています。

このほか、グローバルな事業として、世界獣医学協会（WVA）およびアジア獣医師会連合（FAVA）のメンバー国として、世界各国の獣医師会と連携して、技術情報の交換や人事交流だけでなく、世界大会や学会の開催・参加など、獣医学術交流事業にも積極的に取り組んでいます。

日本獣医師会の信頼のネットワーク



獣医学術の振興・普及のための取り組み

日本獣医師会では、学術分野別の学会活動を運営する機関として、「日本産業動物獣医学会」「日本小動物獣医学会」「日本獣医公衆衛生学会」といった3つの学会があります。そこでは、獣医学術の振興や普及を図るための専門誌の刊行や学会の開催などを行っています。また、全国規模での学会年次大会を開催するとともに、特に優秀な研究業績に対して獣医学術賞を授与し、獣医学術の振興を促進しています。



国民生活に直結する問題の検討と提言

日本獣医師会では、獣医師が活動するそれぞれの分野ごとに部会を設置しています。ここでは、各分野におけるさまざまな課題を検討する委員会が設けられていますが、獣医療に関わる問題のほとんどが国民生活に直接結びつくものというのが現状です。各委員会では、日夜真剣な議論が繰り広げられ、検討結果は報告書としてまとめられて、関係省庁などに対する政策提言として役立てられています。



人と動物の「いのち」の輝きのために、社会のニーズに応え、国民生活を向上させる力となる



次代を担う人材育成のための支援

獣医師は、日々進歩する学問的知識や技術に対応していかなければなりません。そのため、日本獣医師会では、人材育成事業として、教材の作成をはじめ、家畜衛生や食品の安全管理、最新の動物診療技術など、幅広い分野での教育・研修活動を支援しています。

また、さまざまなプログラムを通して努力を重ねる獣医師をサポートし、社会に貢献できる獣医師をひとりでも多く育成するような取り組みも行っています。

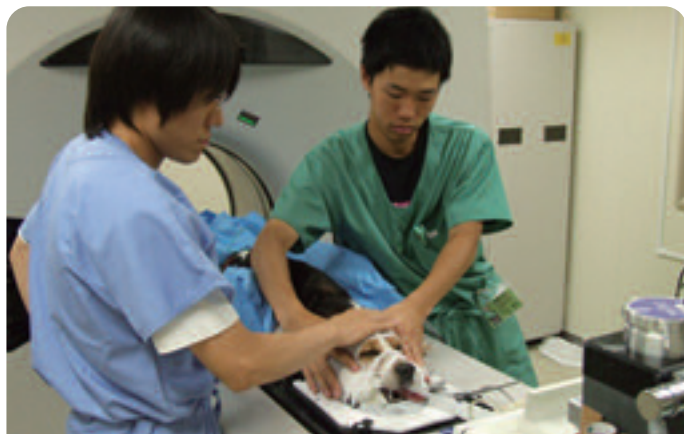


獣医師の仕事を一般に理解してもらうために

さまざまな場所で活動する獣医師の仕事を広く一般に知ってもらうことも重要なことといえます。日本獣医師会では、「動物感謝デー」など一般参加型のイベントを開催することで、多くの方々に獣医師の仕事を理解してもらえるような取り組みを行っています。このようなイベントを通して、安心・安全な暮らしへの取り組みを理解してもらうとともに、動物たちとの適切なふれ合い方などを学んでほしいと考えています。

世界の中で最高の医師は獣医師である 言葉を持たない患者の情報をきちんと知ることができるのだから

俳優・作家 ウィル・ロジャース(アメリカ)



獣医師の活動分野

「獣医師＝動物のお医者さん」というイメージが一般的かもしれませんが、実際はそれだけではありません。獣医師の仕事の場は、皆さんの想像以上に多いのです。

犬や猫などの家庭動物の診療や、牛や豚などの家畜の診療といった「動物診療」は獣医師としての重要な仕事ですが、これらは獣医師の活動分野の一部にすぎません。公務員として家畜伝染病を防ぐ家畜衛生分野や、狂犬病をはじめとする人と動物の共通感染症の予防にあたり、食肉などの食品の安全性を監視する公衆衛生分野に携わる獣医師のほか、動物愛護管理行政に携わる獣医師もいます。

そのほか、動物園や水族館、学校、福祉施設、自然のフィールドなど、さまざまな分野で獣医師が活動しています。

獣医師の仕事は、動物の健康だけでなく、人の健康にも深く関わっており、私たちの安心で安全な暮らしと密接な結びつきを持っています。

獣医師は、地球上の「いのち」あるところすべてを活動の場にしていると言っても過言ではないのです。

～世界で活躍するDr.ジャパン～



アジアやアフリカなどの発展途上国に暮らす人々にとって家畜は貴重な「財産」です。その現地の人々の財産を守るために、今も日本人獣医師がさまざまな国で活動を続けています。

豊富な知識と経験を持った獣医師が技術協力の最前線に立って、家畜伝染病の防疫や家畜の健康管理を行っており、現地の人々の生活の支えとなっています。

日本人獣医師は、獣医療の専門家として派遣されているほか、青年海外協力隊員として活躍しています。

動物診療分野

- 家畜(牛、馬、豚、鶏等)の診療および飼育指導
- 犬・猫・小鳥等の家庭動物の診療および飼育指導

獣医学術の振興・獣医教育・研究分野

- 獣医学生の教育
- 獣医学術の研究

学校飼育動物・動物介在活動分野

- 学校飼育動物の飼育指導および診療
- 動物を活用した社会福祉活動および動物介在活動

野生動物分野

- 動物園・水族館動物の診療
- 希少動物の人工繁殖
- 野生動物の保護・管理

海外協力分野

- 海外技術協力(専門家の派遣・研修生の受入による技術移転等)

バイオメディカル分野

- 動物用・人体用医薬品の開発
- 動物用・人体用医薬品の安全性の確保
- 実験動物管理
- 遺伝子組替え等バイオテクノロジーの開発と活用

こんなに広い! 獣医師の活動分野

公務員分野

- 家畜伝染性疾病的防疫(国内防疫・動物検疫)
- 家畜農家の指導(飼育管理・衛生指導等)
- 家畜の改良・増殖(人工授精・受精卵移植等)
- 家畜疾病に関する試験・研究
- 動物用医薬品の検定(医薬品の安全性の確保等)
- 薬事監視(畜産物の安全性の確保等)
- 魚病防疫(水産分野との連携・協力)
- 食肉検査(食肉等の安全性の確保)
- 狂犬病等の予防(人と動物の共通感染症の予防)
- 食品衛生監視・指導(食品の安全性の確保)
- 環境衛生監視・指導(環境の保全)
- 人と動物の共通感染症に関する試験・研究
- 動物愛護思想の啓蒙・普及

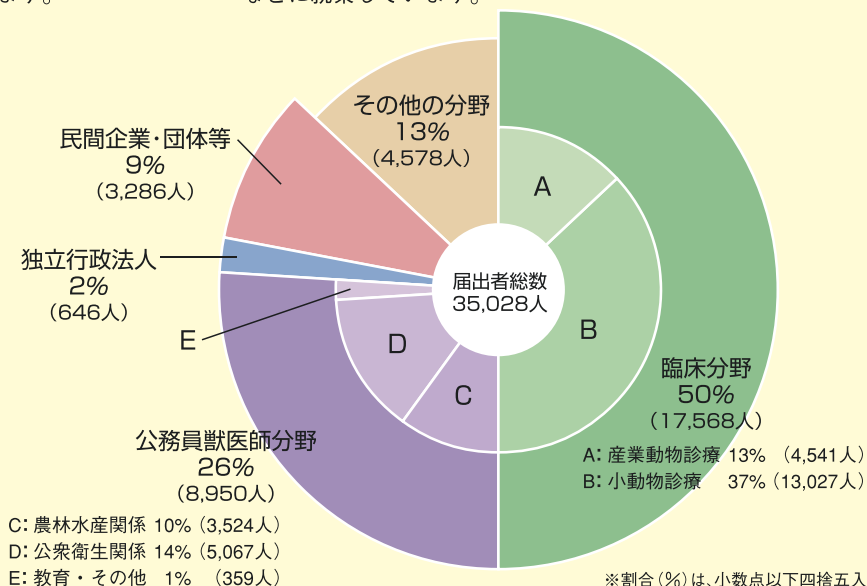
■獣医師数と活動分野

わが国の獣医師の数は、獣医師法第22条の届出によると35,028人(平成20年12月31日現在)。このうち、日本獣医師会の構成獣医師は27,693人(平成23年8月31日現在)で、組織率にして約79%となります。

獣医師は、多様な職域において、動物の診療に従事する「臨床分野」をはじめ、家畜衛生や食品衛生等に従事する「公務員獣医師分野」、大学・研究所などの教育・試験研究、医薬品の開発食品製造などの「民間企業分野」などに就業しています。

[活動分野ごとの獣医師数]

～獣医師法第22条の届出による～
(平成20年12月31日現在)



大切な家族の一員である家庭動物の健康を守る身近なドクター 動物病院の獣医師は、治療だけでなく、さまざまな相談にも応えます

家庭動物の健康を守る〈小動物診療〉

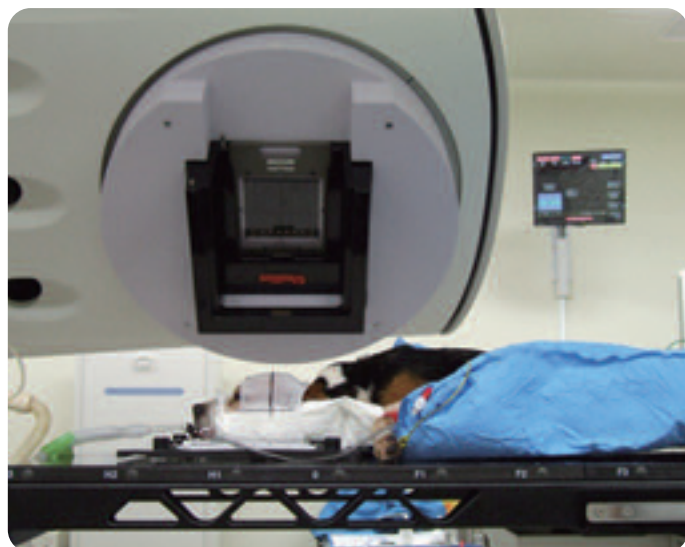
コンパニオン・アニマル（伴侶動物）とも呼ばれ、大切な家族の一員として人とともに暮らす犬や猫、小鳥やウサギなどの家庭動物たち。その健康を支えているのが動物病院の獣医師たちです。

最近では動物病院にもさまざまな形が見られるようになってきました。よく知られているのは、一般診療を行う動物病院で、そこでは治療のほか、健康診断やしつけ、栄養相談など、動物の飼育にかかわるさまざまな相談にも応え、問題の解決に取り組んでいます。

また、専門病院も増えてきており、高度な知識や技術を修得した獣医師たちが、専門的な診療を行っています。そこでは人と場合と同様に、専門の診療科が設けられ、動物の総合病院としての役割を担っています。そのほか、猫、小鳥、ハムスター、ウサギなどの動物種ごとの専門病院もあります。

小動物診療では、狂犬病予防対策をはじめ、各種の人と動物の共通感染症の予防対応も重要な役割です。

各地の動物診療の現場では、獣医師の仕事を支える大切な存在として多くの動物看護職の方々が活躍しています。日本獣医師会では、動物の健康に関わるさまざまな活動をしている方々との連携を深め、よりよいチーム獣医療の提供に努めています。





ホームドクターとしての獣医師

動物病院には、日々治療を求めて小さな動物たちがやってきます。犬、猫、小鳥、ハムスター、ウサギ、中にはヘビやトカゲなどは虫類やカメなども動物病院を訪れます。そこで働く獣医師たちは、飼い主さんにとって身近な存在であるホームドクターです。

ホームドクターの仕事は動物を診るのですが、そのほかにもしつけやペットフードについてなど、動物の飼育にかかわるさまざまな悩みや疑問に対応するのも大切な仕事のひとつ。ホームドクターは、動物の診療を通じて飼い主さんの暮らしをより豊かなものにするためのサポート役であるといえるのです。

"かかりつけの医師"としての役割

すべての動物に画一的な治療を施すことがホームドクターの仕事ではなく、それぞれの飼い主さんと相談しながらベストと思われる治療を選択しなければなりません。言葉を持たない"患者"を診ることはとても大変なことです。飼い主さんと二人三脚で動物の健康を守っていくことがホームドクターとしての役割であり、獣医師としての仕事の醍醐味でもあります。



小動物のための高度先端医療

動物も人の場合と同じで、設備などの問題によって、どうしても専門的な治療が必要になる病気があります。そのような病気に対応するためには、専門的な知識や技術のほか、高度医療機器を使った治療やCT、MRI、PET などのような特殊な検査が必要となります。

近年では、皮膚科、腫瘍科、外科、神経科、動物行動科、歯科、眼科など、人の医療と同様に専門分野に分かれた「総合病院」としての機能を備えた動物病院もあり、そこではより専門性の高い治療が行なわれます。

多くの場合、このような動物病院ではホームドクターと連携しながら治療を進めています。

難病に立ち向かう獣医師

人と同じで動物もガンになります。近年では、治療技術や医療機器が進歩するなど、人の場合と同じような検査や治療を施すことができるようになりました。外科療法や放射線療法のほか、抗ガン剤療法や免疫療法など、腫瘍に対する総合的な診療を行なう獣医師がおり、ホームドクターとの連携のもと、多くの動物たちの命を救うために日々努力しています。

獣医師は、家畜の健康を守ることによって 私たちの暮らしを支えることに貢献しています



家畜の健康を守る〈産業動物診療〉

私たちの食生活に欠かせないものとして、卵、牛乳、肉といった畜産物があります。これらを生み出しているのが牛や豚、鶏といった家畜です。この家畜の健康を守ることも獣医師としての重要な仕事です。

産業動物診療分野に従事する獣医師にとっての"患者"は、乳牛、肉牛、豚、鶏や競走馬などの家畜です。この分野で働く獣医師は、産業動物として私たちの暮らしと密接にかかわっている家畜の病気の予防・診療、飼養管理、衛生管理などのほか、繁殖の専門家として農業共済組合や産業動物診療施設で活躍しています。健全な飼養衛生管理が行なわれるように畜産農家の指導にあたるのも獣医師の大切な仕事となっています。

また、人工授精や受精卵移植など、家畜の改良増殖の仕事に従事する獣医師もあり、肉牛の増産などに貢献しています。

そのほか、ニジマス、ヤマメ、イワナなどを育てる養魚場でも、獣医師が水産試験場の技術者などとともに「魚病」の発見・予防のために努力しています。

獣医師は、貴重な食料資源でもある家畜を病気から守り、生産性を向上させることによって畜産農家とともに私たちの生活を支えています。



～大型診療車での往診～

家畜の診療には、開業獣医師だけでなく、農業共済団体などの獣医師も従事しています。そのような団体の中には、検査のための精密機器を積み込んだ大型診療車を備えているところがあります。このようなハイテク診療車を利用することで、迅速な検査と診断が可能になります。

「受精卵移植」って知っていますか？

質の高い家畜をより多く生み出すことが期待される
最新のテクノロジー

「受精卵移植」とは、人工授精した受精卵をメスの子宮から取り出して他のメスの子宮に移植する技術です。採取した受精卵は、すぐに移植されるか、あるいは一度凍結保存されたのち、適切な時期に移植される場合があります。受精卵の大きさはほぼ150ミクロン。もちろん肉眼では識別できません。移植には受精卵を顕微鏡下で2分割したものを使います。この技術により、家畜の品種改良や肉牛の増産が可能になるとされ、大きな期待が寄せられています。

現在さまざまな機関で受精卵移植の積極的な活用に取り組んでいます。獣医師は、このような家畜の改良増殖の分野でも活躍しています。





移動しながら飼養現場で診る

牛や馬といった大型の家畜の場合は、犬や猫などの小動物と違って、診療施設で治療することができません。そのため、獣医師が自ら畜産農家へ行き、現場で治療を行なう必要があり、飼養現場が診療室となります。獣医師は、その場で診断を行い、ただちに投薬などの必要な処置を施します。

この仕事は畜産農家を巡回することが多く、1日100km近く移動することもまれではありません。このため、最新の知識や優れた専門技術だけでなく、強靱な体力や臨機応変に対応するための判断力なども要求されます。

大切なのは農家との信頼関係

安心・安全な畜産物を安定して供給し続けるためには、家畜の病気予防も大切であり、農家へのアドバイスも獣医師の重要な仕事のひとつです。そのためには経験や知識、最新の情報などはもちろん、生産者との信頼関係を築くことも重要となります。生産者との積極的なコミュニケーションを図り、安全性や生産性の向上に努めることも獣医師の役割として大切なことなのです。



感染症から家畜を守るために

大規模な酪農の場合、問題となるのは個々の病気ではなく、そこで飼育されている多くの家畜に影響をもたらす感染症です。そのため、従来の病気の治療や予防だけでなく、「群れ」としての家畜の管理も獣医師の仕事となります。

大規模農家からはさまざまな生産データが獣医師のもとに送られてきますが、獣医師は自らそれらを精査し、農家を巡回しながら適格なアドバイスをします。群管理で最も重要となるのは病気を出さないこと。私たちの暮らしに必要な不可欠な産業である畜産の安全性を維持・向上させるために、獣医師は日々努力を重ねています。

生産の一環にいる獣医師

産業動物診療分野で働く獣医師たちは、肉や牛乳など、私たちの暮らしになくてはならない食料の生産に深くかかわっています。食品の安全性が大きく取りざたされる昨今、獣医師の果たすべき役割はますます重要なものになっています。また、生産物の安全性についての正確な情報を消費者に対して発信していくことも獣医師の果たす役割のひとつであると考えています。

獣医師は公務員としても活躍し、畜産の発展や公衆衛生の向上そして、動物の福祉・愛護精神の普及などにも貢献しています

公的機関で活動する獣医師

獣医師は、国家公務員や地方公務員として公的機関でも活動しています。

公務員として働く獣医師は、家畜の疾病のまん延を防ぐための「家畜衛生」、畜産物の衛生検査などや人と動物の共通感染症対策、動物福祉・愛護精神の普及といった「公衆衛生」に携わっています。

公務員としての獣医師の仕事は多岐にわたっており、私たちの暮らしとも密接につながっています。



家畜衛生

家畜の伝染病の防止を通じて畜産の発展や食料の安全供給に貢献しています



〈国内での家畜の疾病を防ぐ〉

口蹄疫、牛海綿状脳症（BSE）、鳥インフルエンザといった家畜の感染症が最近国内で発生しましたが、その防疫対策の中心となって活躍したのが、家畜保健衛生所の獣医師です。

感染症には発見後、速やかな届出が必要な法定伝染病のほかにも多くの感染症があります。感染症については、多くの研究機関でより良い診断・治療のための研究が日々研究され、実際に家畜防疫の現場で活かされています。獣医師の努力により、日本の家畜防疫は国際的に高い評価を得ています。

〈水際で家畜の疾病の侵入を防ぐ〉

農林水産省は全国の港や空港で獣医師による動物検疫業務を行っています。動物検疫所では、生きた家畜だけでなく、骨・肉、毛皮類などの畜産物や人工授精に用いる精液などの検疫を行ない、国外からの感染症の侵入を水際で防いでいます。

公衆衛生

食品衛生、感染症予防、動物福祉・愛護精神の普及を通じて、私たちの安全な暮らしに貢献しています



〈公衆衛生や食の安全の向上に貢献〉

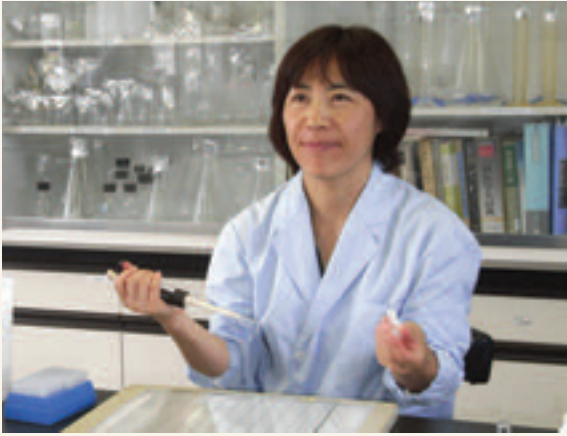
家畜は食肉処理場や食鳥処理場などで畜産物となります。獣医師などの食品衛生監視員が食肉加工の過程で衛生検査を行い、食中毒やBSEなどを防止し、畜産物の安全性を確保しています。

〈人と動物の共通感染症対策〉

国や自治体の研究機関では、獣医師が狂犬病をはじめとする人と動物の共通感染症の防止対策や、発生した場合の速やかな対策に取り組んでいます。

〈動物福祉・愛護精神の普及〉

捨て犬や捨て猫が悲劇的な運命をたどることは、皆さんご存知だと思いますが、そのような現場でも動物たちは獣医師に支えられています。命の尊さを知り尽くしている獣医師は、不幸な動物たちを減らすために、動物の里親探しや飼い主への飼育指導など、動物福祉・愛護精神の普及に行政とともに取り組んでいます。



家畜伝染病対策の最前線で働く獣医師

公務員として家畜保健衛生所などで働く獣医師は、家畜の伝染病予防とまん延防止に努めています。主に法定伝染病である口蹄疫やBSE、鳥インフルエンザなど、発生すると大きな被害が予想される疾病に対して、農林水産省や各都道府県と連携して対策にあたっています。生産者への情報提供や飼養環境などに関する指導も重要な仕事です。また、法定伝染病以外の疾病についても、病気が疑われる家畜の精密検査や診療獣医師と協力しての治療など、適切な対応をとっています。

家畜の病気は予防が最も重要です。そのため、獣医師はさまざまな検査や生産者への指導を行い、安全な畜産物の安定生産に貢献しています。



海外からの動物の病気の侵入を防ぐ

空港や港には動物を介して海外から侵入する病気を防ぐための検疫所があり、家畜防疫官としての仕事に従事する獣医師がいます。ここでは、旅行者が持ち込む動物（犬や猫など）や家畜、展示動物のほか畜産物の検査も行います。これらの業務すべてに獣医師が携わり、日夜病気の国内侵入に目を光らせています。

例えば、馬の場合、法令に基づいて10日間係留し、係留期間中は朝夕2回の健康チェックを行いながら、血清学的検査や微生物学的検査などさまざまな検査を行います。輸送疲れで馬が体調を崩してしまった場合は、夜間や休日であっても診療獣医師とともに対応にあたります。



食卓の安全を守る獣医師

各都道府県には「食肉衛生検査所」というものがあり、そこでは「と畜検査員」として働く獣医師がいます。と畜検査員は、まず生きた家畜の健康状態を視診や触診などで確認し、と畜後には血液、内臓、筋肉などのチェックをします。そこで万が一異常が見られた場合は、一部を検査材料として採取し、細菌検査、血液検査、病理検査、理化学検査などを行います。牛の場合はBSE検査が必ず行われています。

安全な食肉を安定して供給することは獣医師の重要な仕事のひとつですが、近年、食肉の安全性に対する意識が高まっており、この分野での獣医師の果たすべき役割はますます大きなものになっています。



動物愛護の心を育てる

TVドラマや映画にも登場し、ご存知の方も多いと思いますが、都道府県の動物愛護相談センターなどでも獣医師は活躍しています。

ここで働く獣医師は、捕獲・収容された犬や猫などの動物の処分・譲渡のほかに、動物愛護の精神の啓発や適正な飼育法の指導、人と動物の共通感染症の調査・研究、ペットショップの監視、小学校に出向いての動物教室の開催、飼育やしつけなどの電話相談など、さまざまなことを行っています。

犬や猫は最後まで愛情と責任をもって飼うべきもの。動物愛護行政や小動物診療に携わる獣医師は、動物の幸せな一生をサポートしていく必要があると考えます。

獣医師はアカデミックな活動だけでなく、動物園や水族館、学校などでも人と動物が共生する豊かな暮らしを支えるために活動しています

こんなところにも！ さまざまな分野で活躍する獣医師たち

これまでのページでは、小動物診療や産業動物診療にあたる獣医師、公務員として家畜衛生や公衆衛生に取り組む獣医師の活動を紹介してきましたが、獣医師の活動場所はほかにも多々あります。私たちが暮らすさまざまな分野で獣医師が活躍し、社会の発展に大きく貢献しています。

皆さん、もう一度動物を取り巻く環境に目を向けてみてください。きっと「いのち」あるところで懸命に働く獣医師たちの姿が見えてくるはずです。



学校動物飼育支援活動



野生動物保護活動



学会での発表



病院での動物ふれあい活動



水族館でのイルカの診療



海外技術協力





獣医学術の振興・ 獣医学教育・研究

大学や研究機関などで獣医学に関する 調査研究を行うとともに獣医学生を教育する

大学や研究機関では、獣医学に関連するさまざまな調査研究を行っています。それらの研究成果は学術集会や学会などで発表され、獣医学術の振興・普及に貢献しています。優れた調査研究が獣医師が活動する分野で役立つことはもちろん、社会全体に役立つことも少なくありません。また、大学には教員として獣医学生の教育に力を注ぐ獣医師がいます。具体的な症例の検討などを通じ、知識や技術を深めていきます。次代を担う後進の育成も獣医師の大切な役割のひとつです。



学校動物飼育支援

動物の飼育体験を通じ、子供たちに豊かな 心を育てる動物介在教育

学校では、動物飼育の実践を通じて子供たちの豊かな心を育む「心の健康教育（動物介在教育）」が行われています。獣医師は、学校で飼育される動物の衛生管理、動物愛護と福祉の観点に立った適正飼育を行ううえで指導的な役割を果たしています。現在、地方獣医師会との連携・協力のもとに、多くの獣医師が活動しています。

文部科学省も動物飼育を活用した教育を奨励しており、各地域で獣医師が学校や幼稚園を訪問し、そこで飼育されている動物の飼育指導や診療活動を行っています。



動物介在活動

福祉施設訪問等の社会活動を通じて 心の健康を支える

高齢者施設や養護施設などの福祉施設や病院、幼稚園などを動物とともに訪問するボランティアグループがあり、そこでも獣医師が活躍しています。難病と闘う子供たちが入院している病院を訪れることもあり、動物たちの健康チェックは獣医師の重要な役割となっています。この活動は、動物の持つ温もりや優しさに触れることで、動物介在療法を実践するものであり、医師とともに行うことでさまざまな成果を上げています。人々の心の健康を支えることも獣医師の大切な仕事といえます。



野生動物対策・ 動物園動物診療

野生動物の保護・管理を通じて 環境を保護する

傷ついた野生動物たちを懸命に救おうとする獣医師がいます。彼らの活動が社会の共感呼び、現在、野生動物救護獣医師会の設立や、各地の野生動物救護センターの開設など、その活動の輪は徐々に広がっています。

動物園や水族館の獣医師の仕事は、展示動物たちの健康を守ることでだけではありません。希少動物の保護活動や繁殖活動にも取り組み、そのネットワークは世界中に広がっています。また、展示動物の生態にあった自然な環境づくりにも取り組んでいます。



バイオメディカル

医師と協力して実験動物を管理し 医薬品の開発等を通じて、人の医学にも貢献

動物の健康を保つには、ワクチンをはじめとするさまざまな医薬品が欠かせません。獣医師は動物薬の開発にも携わり、医薬品の予防効果、治療効果、毒性などを調べる各種の有効性試験や安全性試験を行っています。

また、動物薬だけでなく、人の医薬品を製造するメーカーでは、製品の開発に欠かせない実験動物の飼育・管理も獣医師の重要な役割となっています。新薬の開発などにも多くの獣医師が携わり、人医学の発展にも貢献しています。



海外技術協力

家畜衛生、公衆衛生の発展に協力し 発展途上国の人々の生活の向上に努める

国際協力機構のプロジェクトを中心に、獣医学のさまざまな分野での国際貢献が行われています。アジア、アフリカ、南太平洋地域、中南米などで家畜の健康管理や家畜衛生・公衆衛生分野の指導などに日本の獣医師が力を発揮しています。海外の獣医大学の設立・運営の支援など教育分野でも大きな役割を果たしています。

また、最新獣医学の研究成果を学ぶために研修生として日本を訪れる外国人獣医師たちも多く、さまざまな機関で海外からの研修生を受け入れています。

大切なのは「いのち」とは何かを学び、その尊さを知ること はばたけ！ 未来への夢に若さを託す獣医師の卵たち

獣医師になるには

毎年、獣医師国家試験に合格する獣医学生数は約1,000名。「女性の時代」といわれる時代背景もあってか、最近、女子学生も大変増えています。

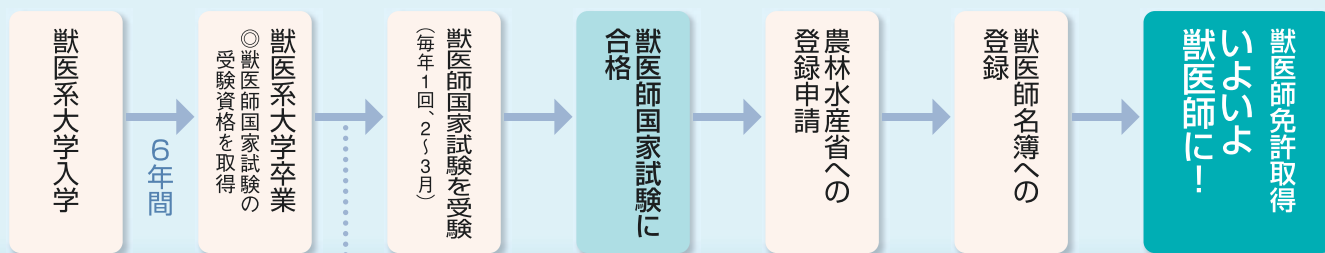
獣医学教育の履修過程は、全国に16校ある獣医学系大学における6年間。医学部に匹敵する多様なカリキュラムをこなし、動物たちとのつきあいを深めながら、厳しい臨床実習などを乗り越えていかなければなりません。未来への夢に燃えて、動物の「いのち」の不思議と驚異を学ぶ獣医師の卵たち。その目は希望に満ちています。

獣医師になるためには、まず、獣医学科のある大学に入学し、教養科目や獣医学に関する専門教育を受ける必要があります。そして、6年間の獣医学教育を履修したのち、農林水産省が行う獣医師国家試験（毎年1回、2～3月）を受験しなければなりません。試験は、学説に関する試験と実地に関する試験が行われます。

獣医師国家試験に合格しただけでは獣医師の資格は得られません。国家試験に合格したら、農林水産省に免許の交付申請の手続きを行い、獣医師名簿に登録されるとともに、農林水産大臣から獣医師免許証が交付されてはじめて獣医師としての資格を取得することができます。



■ 獣医師になるまで



小動物診療にしろ産業動物診療にしろ、臨床業務に従事する獣医師は、大学を出て国家試験に合格したからといってすぐに独り立ちできるわけではなく、少なくとも2～3年は臨床経験を積む必要があります。このため、農林水産大臣の指定する卒後臨床研修施設における研修のほか、小動物診療の場合は、動物病院などで研修医として勤務しながら勉強し、また、産業動

物関係では農業共済団体の家畜診療所などに勤務し、先輩獣医師と一緒に実地に診療活動に従事しながら経験を積んでいかなければなりません。

また、獣医師の資格を必要とする国家公務員や地方公務員の場合は、まず、獣医師国家試験にさきがけて行われる公務員試験に合格する必要があります。

獣医系大学で学ぶことが獣医師への第一歩 大学では、獣医師になるために必要な知識や、「いのち」の尊さを学びます

■獣医系大学

◎国立大学(10校)

北海道大学／帯広畜産大学／岩手大学／東京大学／東京農工大学／
岐阜大学／鳥取大学／山口大学／宮崎大学／鹿児島大学

◎公立大学(1校)

大阪府立大学

◎私立大学(5校)

酪農学園大学／北里大学／日本獣医生命科学大学／日本大学／
麻布大学

大学で学ぶ主な科目

〔基礎獣医学〕

家畜解剖学、家畜生理学、家畜生化学、家畜薬理学、家畜
微生物学、家畜寄生虫学、獣医病理学など

〔臨床獣医学〕

家畜内科学、家畜外科学、家畜臨床繁殖学、家畜臨床病理学、
獣医放射線学など

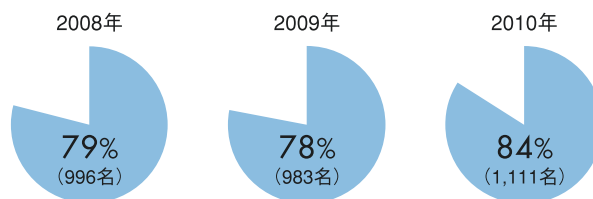
〔応用獣医学〕

獣医公衆衛生学、家畜伝染病学、家畜衛生学、実験動物学、
魚病学など

■獣医師国家試験の出題内容および近年の合格者数と合格率

- ・獣医療の基本的事項
- ・獣医学の基本的事項
- ・衛生学に関する事項
- ・獣医学の臨床的事項

〔獣医師国家試験の合格者数および合格率〕



獣医学教育の現場から



動物への愛情は獣医師の原点。しかし、それだけではなく "人と動物の暮らしを守る"という信念が必要です

獣医学教育は6年制です。カリキュラムは大学によって若干の違いはありますが、1～2年時は一般教養と若干の専門教育、3年時から専門教育に入り、4年以降は実習を含めた専門教育が行われます。獣医師とひと口でいってもその活動内容は多岐にわたっています。大学教育は、それらのすべての専門領域を詳細に教えることはできません。そのため、獣医師免許取得後、それぞれが従事する分野において勉強の日々が続きます。獣医師が働く場所は「いのちの現場」でもあります。若き獣医師たちは、知識や技術だけでなく、「いのちの意味」も学ばなければなりません。



大型動物を使った臨床実習

World Veterinary Year
世界獣医年 2011

獣医学教育および獣医専門職誕生250周年

世界で初めて獣医大学ができたのは1761年のこと。フランスのリヨンにクロード・ブルジュラが開きました。獣医学を学ぶための世界初の教育機関を開くことで、ブルジュラは「獣医師」という専門職をも作り出しました。

以後250年にわたって、獣医師は動物と人類の健康に貢献し続けてきました。2011年は、獣医学教育および専門職としての獣医師が誕生してちょうど250周年にあたります。今年は、世界中でこれを祝うさまざまなイベントが行われています。これらのイベントは、獣医師が果たしている数多くの役割を広く一般に理解してもらうためのものでもあります。

この小冊子を手にとっていただいた皆さまにも、獣医師が動物の診療だけでなく、動物と人の健康を守るために、さまざまな分野で活躍していることをご理解いただき、日々の暮らしの中で獣医師たちの尽力を少しでも感じていただければと心より願っております。

被災した動物がふたたび幸せに暮らせるよう 獣医師は力を尽くしています

被災した動物たちのために力を結集する獣医師たち

阪神淡路大震災、有珠山や三宅島の噴火災害、新潟中越地震などの自然災害における動物救護活動や口蹄疫での防疫活動など、獣医師はさまざまな困難に立ち向かってきました。

そして、今年3月11日の東日本大震災。被災地域に住む人だけでなく、さまざまな動物たちも地震や津波の被害に遭いました。獣医師たちは、被災動物を救うために再び力を結集し、懸命に活動を続けています。

被災動物の保護や捜索、治療はもちろんのこと、避難所や仮設住宅などで暮らす飼い主との飼育相談など、やるべきことは尽きません。また、日本獣医師会では、動物救護活動を行う獣医師への支援だけでなく、マイクロチップの提供や動物IDの無償登録も行っています。全国から寄せられた支援義援金の有効活用とともに、被災地での獣医療の提供体制を守ることにより、動物たちの命を守っているのです。



1



3



4



2



5

保護・捜索活動

Photo 1・2

地震や津波によって飼い主を失ったり、飼い主と離ればなれになってしまった動物たちがたくさんいます。そのような動物たちを探して保護をし、健康状態をチェックすることも被災地での獣医師の仕事になっています。ときには放射性物質による汚染が心配されている警戒区域内で活動することもあります。保護した動物たちは被災動物保護収容施設や動物病院などに一時的に預けられます。被災地域の各獣医師会では、保護動物のためのシェルターの運営や情報提供などを行っています。

診療活動

Photo 3～5

震災直後から現地の獣医師は、自分が持てる限りの力を尽くして身近な動物たちの命を守りました。そして現在では、地方獣医師会や自治体などが連携して系統的な診療活動が行われています。被災動物保護収容施設や避難所などへの巡回診療や、動物病院においての診療が行われており、ケガや病気の治療や感染症のまん延を防ぐための対策が施されています。また、被災地域の各獣医師会では、ホームページ上で動物救護活動に関する新しい情報の提供に努めています。

<マイクロチップを用いた動物の個体識別>

犬や猫などの動物の飼い主は、その動物が自分の所有であることを明らかにするように努めることが動物愛護管理法で定められています。迷子や盗難、事故のほか、東日本大震災のような災害の際でも、「マイクロチップ」を埋込んで、その情報を日本獣医師会のデータベースに登録しておけば、安全で確実なペットの身元証明になります。また、保護した動物の飼い主検索はインターネットでも可能です。

[日本獣医師会事務局に直接照会して飼い主検索を行なう方法]

インターネットによる飼い主検索は、IDとパスワードを持つ獣医師に依頼してください。獣医師が見つからないときは日本獣医師会に直接連絡をいただければ、日本獣医師会が飼い主の検索を行ない、該当する飼い主に連絡し、動物が保護されている施設名や連絡先をお伝えします。



阪神淡路大震災で被災した犬や猫の数は9,000頭を超えるとされており、東日本大震災でも多くの動物が被災し、保護施設での暮らしを余儀無くされています。現在、日本獣医師会が参画する「どうぶつ救援本部」や各地方獣医師会などでは、飼い主をもたない犬や猫の情報をホームページなどで公開し、もとの飼い主への返還や新しい飼い主へ譲渡するための努力をしています。また、地方獣医師会などでは譲渡会を開くなどして、被災した犬や猫の新たな暮らしのためのサポートをしています。

返還・譲渡

Photo 6

獣医師は、避難所や仮設住宅などで暮らす動物とその飼い主への支援活動も行っています。獣医師が各地を巡回して、動物の検診や治療などを行っているほか、飼い主に対して動物や飼育環境の衛生管理や食事管理、ペット用品が少ない中での工夫をこらした飼育のしかたなどを指導しています。また、「どうぶつ救援本部」などでは、ペットフードなどの配布や、動物を飼えない環境で避難生活を送っている飼い主に対して、動物の一時預り施設の紹介といった活動もしています。

飼い主支援

Photo 7~10



6



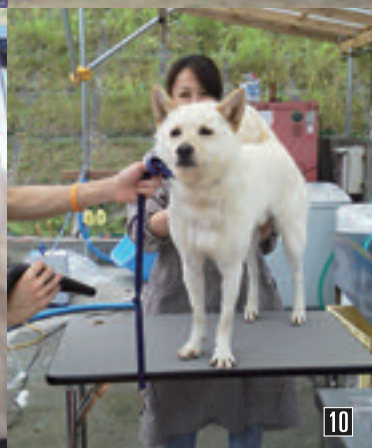
7



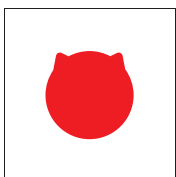
8



9



10



**どうぶつ
救援本部**

1匹でも多くの犬や猫を救うために。

どうぶつ救援本部（正式名称：緊急災害時動物救援本部）は、動物愛護精神および人間と動物の絆を守る観点から、天災・人災など不測の緊急災害において被災した動物の救援および円滑な救援の確保を目的とする組織で、日本動物愛護協会、日本動物福祉協会、日本愛玩動物協会、日本獣医師会によって運営されています。東日本大震災では、獣医師とともに被災動物の保護・捜索やさまざまな飼い主支援などを行い、多くの団体や民間企業と連携して、被災動物の救援活動を行っています。



www.doubutsukyuen.org



アクサ損害保険株式会社

redefining / standards

ずっと元気でいてほしい そして…ずっとそばにいてね

アクサダイレクトの ペット保険



オリコン顧客満足度ランキング
ペット保険部門

総合第1位

カスタマーサービスセンター
「アクサダイレクトのペット保険」専用受付



0120-324-384

(10:00~18:00 土・日・祝日および年末年始を除く)

PET0166-119-0166.11091C

人と医療のあいだに…

医療従事者の方々と患者様の間で、「患者様第一主義」を
実践することが、私たちJMSの使命です。



株式会社 ジェイ・エム・エス

広島本社 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号

TEL (082) 243-5844 FAX (082) 243-5997

東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル

TEL (03) 6404-0600 (代) FAX (03) 6404-0610

<http://www.jms.cc>

DSファーマアニマルヘルス

もっとそばへ。もっとさきへ。

私たちが目指すのは、もっとお客さまのそばに寄り添い、お客さまの満足を実現する「顧客視点企業」。

もっと動物医療のさきを見つめ、有用で質の高い製品をお届けする「創造的企業」。

大日本住友製薬グループならではの開発力と、スピーディーな実行力、フレキシブルな対応力を駆使し、二つの企業ビジョンを、高い次元で実現して参ります。



DSファーマアニマルヘルス株式会社

〒553-0001 大阪市福島区海老江1-5-51
TEL(06)6454-8823 FAX(06)6454-8107
<http://animal.ds-pharma.co.jp>

日清製粉グループ®

日清ペットフード

幼犬期は、健康的な発育が重要です。
『ジェーピースタイルゴールド幼犬用』は、
幼犬期に適した栄養バランスと、
消化吸収性に配慮して、^{ペット}育ち盛りの愛犬の健康を支えます。
また、ジェーピースタイルは、大切な家族のために何よりも
「安心・安全」に配慮しています。
「何を食べるか」を選択できない愛犬のために、
心から安心できるフードを選んであげてください。

大切な家族は
あなたのその手を
信じています。



主原料
国産

ジェーピー スタイル[ゴールド]〈ドライ〉

無着色／無香料／小分けパック



離乳期～1歳未満の
幼犬用



1～6歳までの
成犬用



7歳以上の
シニア犬用



11歳以上の
シニア犬用

ペットの元気と長生きのために。

日清ペットフード株式会社

日清ペットフードお客様相談室 ☎0120-22-1124
(受付時間／9:00～12:00 13:00～17:00 土・日・祝日を除く)

ジェーピースタイル

検索

「年齢」を重ねても、
「体重」は重ねないで。



運動量が減りはじめる7歳は、肥満が気になる年齢でもあります。愛犬の健康な長生きをサポートするためにも、この時期に「体重」と「食事」を管理することが重要です。7歳からの健康的な体重管理にピッタリの食事が、サイエンス・ダイエット シニアライト。脂肪分約45%オフ、カロリー約15%オフ*。さらに、たっぷりのカルニチンを配合。食物繊維が空腹感を与えないから、愛犬も満足できる食事です。今日の食事が、明日のカラダ。

**7歳からの
カロリーオフ!***

**シニアライト
小粒 肥満傾向の
高齢犬用(7歳以上)**



★当社「シニア 高齢犬用」ドライ製品との比較

ヒルズでは、ペットの健康維持のために、獣医師による定期的な健康診断をお奨めています。



日本ヒルズ・コルゲート株式会社 ☎ 0120-211-311 <http://www.hills.co.jp>

米国の獣医師が自分のペットのために選ぶNo.1*フード

*10米国TNS調べ

〔動物病院専用療法食〕

ドクターズケア
Dr.'s Care

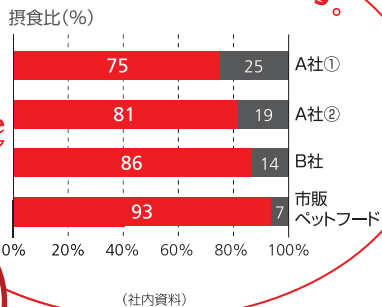
NOVARTIS
ANIMAL HEALTH



ドクターズケア
犬用 ハートケア

2011年10月
Debut!
Heart Care

多くのワンちゃんが好むおいしさです。



Dr.'s Care
犬用 ハートケア

〈実物大〉



1kg包装

3kg包装



「おいしく、楽しく」を、
いつまでも。



ドクターズケア 犬用 ハートケアは慢性心臓病のワンちゃんに給与することを目的として、ナトリウムを制限しつつおいしさにこだわった療法食です。しかも、初期の腎臓病に配慮してリンの含有量を調整し、関節の健康維持を考えてグルコサミンも配合しています。

本商品は動物病院専用で獣医師の指導が必要です。

ノバルティス アニマルヘルス株式会社
東京都港区西麻布4丁目12番24号

ノバルティスカスタマーサービス ☎ 0120-162-419
月～金/9:00～12:00、13:00～17:00 (祝祭日除く)

ヘルシー・美味しい! これはもう食べるシカない!!

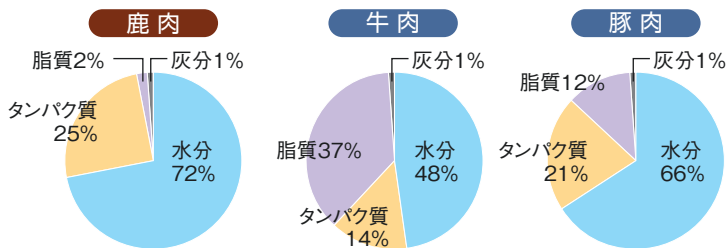
最高級根室産鹿肉

ヘルシー 高タンパク・低脂肪・低カロリー



鹿肉は、高タンパクで低脂肪、低カロリーなヘルシー食材。鉄分も多いため貧血やめまいに悩む女性にもおすすめです。また、高血圧予防や抗がん作用、肥満防止などに効果があると言われる「共役ジエン型リノール酸」が豊富に含まれているため、美味しいだけでなく、健康効果も高い食材としても注目されています。

主な成分データ(部位：ロース)

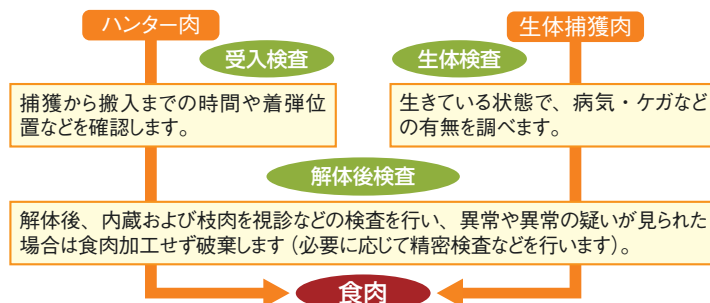


製造元：有限会社 ユック

安心安全 適切な衛生管理の下、フレッシュな「鹿肉」を提供



鹿肉の処理加工を行う(有)ユックは、「囲いわな」で捕獲して牧場で飼育した生体捕獲肉や良質なハンター肉のみを受け入れています。それらを保健所の衛生管理基準をクリアした加工施設にて、北海道で決められたガイドラインに沿って処理。さらに外部検査を受けることで安心・安全な食肉として提供しています。



食の安心、安全、安定を目指します。

販売代理店 総合食肉卸

株式会社 野村商店

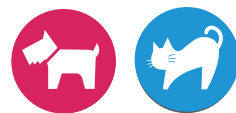
<お問い合わせ先>

TEL.03 (3522) 5212

〒135-0053 東京都江東区辰巳3-17-12

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理に — ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI



M MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力!
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入りの
お得なセット



【容量】 各 100 mL



森久保薬品株式会社

神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL: 046-222-2333(代)

東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 三郷: 048-948-2112 神奈川: 046-221-0620 ツクバ: 0296-43-1661
山梨: 055-224-5278 群馬: 027-230-3322 栃木: 028-666-3399 茨城: 029-241-3131 成田: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613



目に見える、 愛情があります。

「ハートプレート」をご存知ですか？

これは、動物病院だけでもらえる
ペットへの愛情の証。

フロントライン プラスで
ノミ予防・マダニ対策をした方だけに
差し上げています。



一本の愛情で、 救える命があります。

「セーブペットプロジェクト」

動物病院で処方されるフロントライン製品。
その売り上げの一部を、
尊い命を救うために役立てています。

あなたのペットへの愛情が、
行き場をなくした動物たちへの愛情になる。
「セーブペットプロジェクト」に
ご協力ください。



寄付金は、東日本大震災で被災した犬や猫たちを保護する活動にも役立てられています。詳しくはWebサイトへ

ノミの成虫も、タマゴもダブルでブロック。
フロントライン プラス
ドッグ (犬用: ノミ駆除・寄生予防 / マダニ・シラミ・ハジラミ駆除剤)
キャット (猫用: ノミ駆除・寄生予防 / マダニ・ハジラミ駆除剤)
■ ホームセンターなどで販売されているノミ・マダニ
駆除剤とは成分が異なります。



®フロントライン プラスはメリアルの所有登録商標

販売元 **日本全薬工業株式会社**
ZENOQA 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
製造販売 **メリアル・ジャパン株式会社**
業 者 東京都千代田区永田町2-14-2
提携 **メリアル**



〈製品に関するお問い合わせ〉 ヨ クキク ヨ イクスリ
0120-499-419
[月~金] AM 9:00~12:00 PM 1:00~5:00
ハートプレート 検索
Webサイト <http://www.frontlineplus.jp>

詳しくは、お近くの動物病院へ。

愛犬・愛猫やお子様がハートプレートを
誤飲しないようご注意ください。

ROYAL CANIN
VETERINARY DIET

犬 用
VETERINARY
EXCLUSIVE
動物病院
取扱品



**避妊・去勢
したあとの食事**

**ワンちゃんたちに
大好評。**

ロイヤルカナン ペテリナリーダイエット
ベッツプラン ニュータードケアは、
避妊・去勢したワンちゃんのために
特別に調製された毎日の食事です。
手術後のワンちゃんに特に気をつけてほしい
理想的な体重維持に配慮してつくりました。
下部尿路の健康維持にも配慮しています。

原寸大

ニュータードケア
規格: 1kg・3kg・8kg

photo: ©Yves Lancelotti

動物病院が選ぶ毎日の食事

Vets Plan ベッツプラン TM

動物病院でお求めください。

●詳細はベッツプランサービスまで、お問い合わせください。0120-76-1012 受付時間 9:30~18:30 (日曜・祝日は定休日)

〒168-8790 東京都杉並区上高井戸1-22-12

ロイヤルカナン ジャポン Inc.
www.royalcanin.co.jp

＜販売者＞
共立製薬
東京都千代田区千代田 5-1-10

VETERINARY